

# Oyama

2026年2月27日  
町田市立小山小学校  
校長 三瓶 昌信

町田市小山町944番地  
TEL 797-2733

<http://www.machida-tky.ed.jp/e-oyama/>

## みんな大好き、私の学級・学校を目指して

校長 三瓶 昌信

今年度も本校の教育活動に温かいご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。保護者や地域の皆様に支えられて3月を迎えることができました。子供たち一人一人も、これまでの学びを振り返りながら、次のステップを踏み出そうとしています。

昨年度に続き、「町田市教育プラン24-28」の具現化を目指して、学校改革・授業改革に取り組んでまいりました。一気に大きな変化とはなりません、一歩ずつ着実に前進しています。

最近、校長室を訪れる子供が増えています。一人で来る子もいれば、友達と一緒に来る子、中には担任に連れられてぞろぞろと来ることもあります。内容は、友達や教員に対する不満、友人間のトラブル、学年や学級が抱える問題など様々です。多くの場合、子供たちは自分の思いを私に伝えたり、しばらくここで過ごしたりして、心を落ち着かせて教室へ戻っていきます。私も積極的に解決策を伝えようとは考えていません。ただ、耳を傾け、寄り添う努力はしているつもりです。子供たちが自分で考え、判断し、行動することが大切という思いがあるからです。

本校の教育目標の第一は「考える子」です。しかし、最近、子供たちは自分で考える前に、すぐに答えを求める傾向が強いのではないかと感じています。生成AIが身近となり、様々な疑問に対して自分で考えなくても、すぐに答えを示してくれます。私自身もAIを活用しますし、教職員にも活用を促しています。この現状を否定するつもりもありません。むしろ、新しいものを積極的に取り入れるべきと考えています。

ただし、自分で考えることをなくしてはいけません。答えは一つではないでしょう。そこで私は、校長室を訪れる子供たちには、「あなたはどう思いますか?」「どうしたらいいのかな?」と声をかけるようにしています。

「考える」には時間が必要です。その時間は決して無駄な時間ではないはず。例えば、「廊下を走ってはいけません」に対して、その理由が「学校のきまりだからです」というのが正しいのでしょうか?なぜ走ってはいけないのか、考える、考えさせることが重要ではないでしょうか。誰もが考えて行動し、廊下を走らなければ、そのきまりは必要ではなくなります。私はそこを目指したいのです。

一人一人が自分で考え、判断し、行動することができるようになれば、トラブルが減り、思いやる心や正義感につながり、優しさあふれる学級・学校になると信じています。

年度末の学校だよりには相応しくない内容かもしれませんが、これは最近の子供たちの様子から、改めて感じたことです。子供たちには、自分の学級・学校が大好きになってほしいです。全員の子供たちが、安心して過ごせる、気が許せる学級・学校でありたいです。そのために教職員一同、一層努力してまいります。どうぞ、今後とも保護者や地域の皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。